



穂別博物館 2009秋の企画展

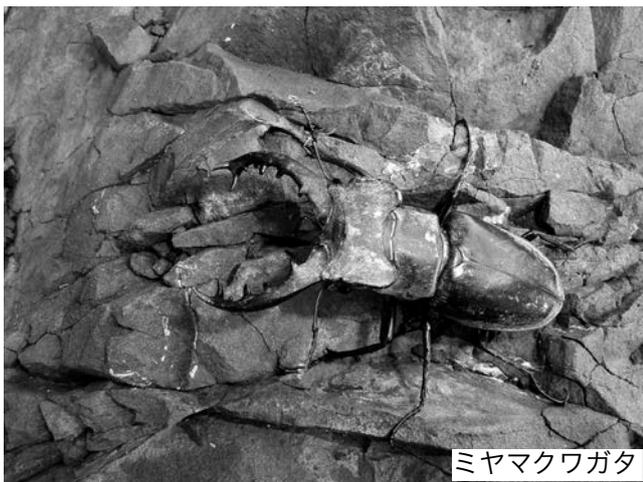
「穂別の生き物写真展」



ヒグマの足跡



シジュウカラ



ミヤマクワガタ



サッポロマイマイ

むかわ町は、山があり、川が流れ、平野が広がり、そして海へとつながっています。こうした変化に富んだ地形や気候の違いに応じて、いろいろな生物が生息しています。

山に囲まれた穂別地区にどのような生き物がいるのか、たくさんの写真で紹介합니다。

2009. 10. 31 (土) ~ 12. 6 (水)

(休館日: 11/2、4、9、16、24、25、30)

穂別博物館 特別展示室

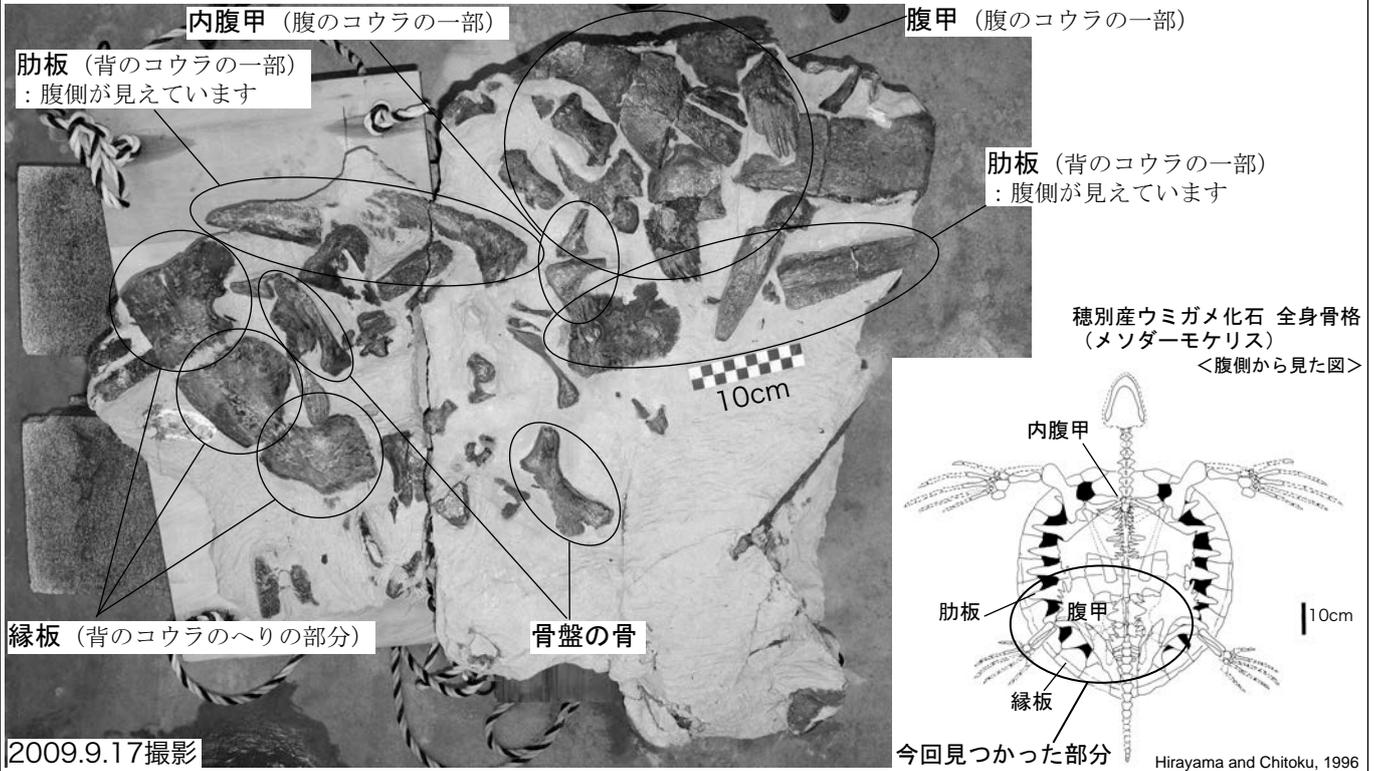
町民文化祭 (10/23-25) で、一部を展示します

「穂別の生き物」写真を募集しています

秋の企画展で展示する、穂別の生き物の写真を募集しています。動物や鳥、昆虫、樹木や草花、キノコなど、何でもかまいません。写真をお持ちの方は、博物館までご連絡下さい。今回の展示は穂別地区の紹介ですが、鶴川地区の生き物の写真も大歓迎です。 (担当: 学芸員 桜井)

白亜紀のウミガメ化石、クリーニング中

昨年発見した白亜紀のウミガメ化石を、蟻酸（ぎさん）を使ってクリーニング中です。化石が酸で溶けないように処理しながら、少しずつまわりの岩石を溶かしていきます。時間と手間がかかりますが、複雑な形や細かい部分まできれいにでてきます。写真は腰のあたりを腹側から見ている状態で、コウラの大きさなどから、このカメは展示室の復元骨格（全長1.2m）より少し小さいようです。
（学芸員 桜井）



化石採集会、実施 (9/13)

9月13日（日）、今年2回目の化石採集会を実施しました。白亜紀後期（約7000万年前）の海の地層で、モササウルスやウミガメなどが見つかりました。千歳市、北広島市、札幌市、帯広市から22人の参加があり、後半は小雨がまじりましたが、みな熱心に化石をさがしていました。見つかった化石は植物化石が大部分でしたが、立派なイノセラムス化石（絶滅した二枚貝）を見つけた人もいました。

（学芸員 桜井）



むかわの化石や生き物く穂別のアンモナイト>
Baculites yokoyamai バキュリテス ヨコヤマイ
棒状のアンモナイト。棒ではない。約8cmの長さまで成長する。白亜紀コニアシアン期（約8900万年前）に生息。北海道やメキシコ、アメリカのユタ州から見ついている。
（普及員 西村）

2009年10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■：休館日
10/13、14は祝日の振替

化石は、過去の生き物や環境について今に伝えてくれます。むかわの大地は、過去一億年に、何度も陸になったり海になったりを繰り返しました。生き物は、そうした環境の変化や時代にともなって移り変わり、現在へとつながっています。（さ）